

行政報告の主な内容（6課16項目）

(1)総務課	執行体制について
	国の栄典関係について
	予約型乗合タクシー運行事業について
	光サービス整備に関する要望活動について
	防災関係について
	自衛隊関係について
(2)保健福祉課	NPO法人なないろニカラの設立について
	障がい者、高齢者福祉施設の整備について
(3)町民生活課	町税等の収納対策について
(4)産業振興課	農作物の生育状況について
	農業生産基盤整備事業について
(5)建設水道課	建設産業安全大会について
	日の出公園ラベンダー園の再生計画について
(6)教育振興課	上富良野高校の現況について
	第7回青少年国際交流事業について
(7)総務課	建設工事の発注状況について

行政報告

(平成25年6月定例町議会)

議員各位におかれましては、公私共に何かとご多用のところ、第2回定例町議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

この機会に、去る3月定例町議会以降における町政執行の概要について報告させていただきます。

(総務課行政報告【総務班関係】)

はじめに、本年度4月からの執行体制についてであります。職員数については、昨年度中の定年退職者など7名の欠員に対して、看護師2名と保健師1名、社会人採用2名を含む一般事務職5名の採用を行い、昨年度当初から1名増の186名による執行体制とし、また、北海道からの職員派遣事業により1名の派遣を受け、商工振興部門の強化を図ったところがあります。

今後とも、町民皆様との協働のまちづくりを進めるため、必要な組織体制の見直しを加えながら、業務の円滑な推進と体制の強化を図り、町民の負託に応え得る体制の構築につなげてまいります。

次に、国の栄典関係についてであります。本年度の春の叙勲では、4月29日付けの発令による危険業務従事者叙勲において、防衛功勞として成田博之なりたひろゆき氏が瑞宝双光章を、菊地敏明きくちとしあき氏が瑞宝単光章を受賞されました。

あらためまして、受賞されました皆様のこれまでの功績に、心から敬意を表するものであります。

次に、予約型乗合タクシー運行事業についてであります。本年4月からは、本運行を実施しているところがあります。

5月末現在の登録者数は、684名となっており、延べ利用者数は1,227名、延べ運行回数は603回、全体の稼働率は77.3%となっているところです。

今後におきましても、利用者や運行事業者をはじめ、多くの方々からご意見を賜りながら、円滑な事業実施とあわせて、さらに制度の充実をめざして運行に努めてまいります。

(総務課行政報告【企画財政班関係】)

次に、光サービス整備に関する要望活動についてであります。町内全域における超高速ブロードバンド環境整備に向けた取組みとして、これまでの間、推進協議会を中心に商工会、農協及び住民会をはじめ、町内各種団体・個人有志の皆様のご精力的な活動により、市街地におけるNTT光サービス事前申込書の取りまとめが行われ、当初目標であります1千件を大きく超える、1,215件の事前申込みがあったところであります。

これらの成果をもとに、4月24日、推進協議会会長とともに、NTTに対し要望活動を行ったところ、NTTからは、早期整備に向け準備を進めていく旨の回答を受けたことから、今年度中のサービス開始を見込んでいるものであります。

あらためまして、これまでの活動に参画いただきました皆様方に対し、心から敬意を表すところであります。

なお、市街地においてはNTTによるサービス整備が行われることから、農村部地域の環境整備を進めていくための関係予算について、今定例会の補正予算に計上しておりますので、ご審議賜りたいと存じます。

(総務課行政報告【防災担当関係】)

次に、防災関係についてであります。上富良野町地域防災計画改訂委託業務につきましては、5月16日、公募型プロポーザル審査により委託業者を決定したところであります。

今後におきましては、来年3月の完成に向けて、工程表に基づいた作業に努めてまいります。

また、防災協定についてであります。大規模災害時における燃料の優先給油提供に関する協定を5月27日に富良野地方石油業組合と、機材の提供に関する協定を6月5日に株式会社共成レンテム上富良野営業所とそれぞれ締結したところであります。

次に、防災士の養成についてであります。本年度は13組織14名の助成を予定しており、5月の試験においては7名の方が防災士の資格を取得したところであります。

今後も引き続き、防災士の養成を図り、地域防災力の向上に努めてまいります。

(総務課行政報告【基地調整関係】)

次に、自衛隊関係についてであります。4月11日に北海道自衛隊駐屯地等連絡協議会により「北海道の自衛隊体制強化を求める要望運動」を、5月17日には「上富良野駐屯地現状規模堅持の要望」を、6月3日には「北海道の自衛隊を支える中央大会」への参加と併せ、富良野地方自衛隊協力会による要望を、それぞれ国会議員、防衛省に対して行っていました。

また、防衛施設周辺整備対策要望につきましても、6月10日に駐屯地、翌11日には第2師団及び北部方面総監部、6月14日には北海道防衛局

へそれぞれ要望を行ってまいりました。

また、6月8日には、富良野地方自衛隊協力会主催により「上富良野駐屯地の現状規模堅持を叶える集い」を開催し、260名の参加をいただき、防衛大臣政務官 佐藤正久参議院議員をお迎えして「我が国の安全保障とこれからの防衛政策」についての講話、そして駐屯地現状規模堅持の要望についての活動報告を行ったところであります。

なお、創隊記念行事等の参加も行っております。

(保健福祉課行政報告)

次に、NPO法人「なないろニカラ」の設立についてであります。障がい者の通所小規模多機能事業所として開設された「なないろニカラ」につきましては、北見市を活動拠点とするNPO法人とむての森により設置、運営されてきたところであります。この度、地元のNPO法人「なないろニカラ」として独立し、4月13日には「かみん」において設立記念式典が開催されたことから、関係者とともに出席してまいりました。

今後におきましても、障がい者が地域において自立できるような事業展開を、大いに期待しているところであります。

次に、障がい者・高齢者福祉施設の整備についてであります。まず障害者支援施設「北の峯学園上富良野事業所」の建設につきましては、「緑町公営住宅取壊し跡地の有効活用方針」に基づき準備を進めてきたところであり、5月10日付けで当該用地の賃貸借契約を社会福祉法人富良野あさひ郷と締結し、その後、同法人より本年9月末の完成に向けて、工事が着手されたとの報告をいただいております。

また、上富良野町社会福祉協議会が、本年11月の開設に向けて準備を進めております「小規模多機能型居宅介護施設」につきましても、泉町の

旧教職員住宅用地等の賃貸借契約を6月11日付けで締結し、工事が着手されているところであります。

今後、両施設が、本町の障がい者、高齢者の福祉の充実に大いに貢献されることを期待しているところであります。

(町民生活課行政報告【税務班関係】)

次に、町税等の徴収状況についてであります。例年どおり、管理職全員による滞納プロジェクトの臨戸訪問徴収や夜間納税相談窓口の開設などに加え、滞納者に対する差押えを執行し、徴収の強化を図るとともに、昨年度より導入したインターネット公売の手法により、差し押さえ物件の換価収納策も強化したところであります。

これらによりまして、平成24年度の収納率は、滞納繰越分を含め、町税で0.1%、国保税で0.5%向上したところであり、滞納繰越金は、前年対比で、町税104万5千円、国保税316万9千円減少し、町税で2,087万6千円、国保税で2,665万円となっております。

(産業振興課行政報告【農業振興班関係】)

次に、農作物の生育状況についてであります。今年は、融雪の遅れやその後の断続的な降雨などの影響により、耕起作業をはじめ、ほとんどの作物において播種・移植作業が大幅に遅れ、今後の生育に大きな懸念を抱いているところであります。

水稻につきましては、平年並みに推移しているところではあります。麦類や甜菜、馬鈴薯は10日程度の遅れ、豆類は5日程度の遅れとなっている状況であります。

今後の生育状況を注視しつつ、天候に恵まれることもさることながら、

農業関係機関相互の連絡をより密にし、農業者の皆様とともに豊穡の秋が迎えられるよう努めてまいります。

次に、農業生産基盤整備事業についてであります。本年度は「東中中央地区」「東中南地区」の2地区が着工、「東中西地区」が事業着手となります。

また、当事業に係る予算が増額されことにより、当初の予定よりも早期に事業が完了するものと期待をしているところでありますが、今後においても、円滑な事業の着工と早期完了に向けて、受益地区の皆様とともに関係機関への働きかけを強めて参りたいと考えております。

(建設水道課行政報告)

次に、建設産業安全大会についてであります。建設工事の繁忙期を迎えるにあたって、4月25日に建設業協会と商工会工業部会の共催により、従事者約160名が集い開催されました。大会では、交通事故や労働災害の防止を参加者全員で確認し、誓ったところであります。

次に、日の出公園ラベンダー園の再生計画についてであります。当初は来年度までの4年間を予定しておりましたが、1年短縮し、本年で完了する予定であります。

ラベンダーの全面植替作業については、苗の植え付けも完了したところでありますが、春先の天候不順や6月の高温と雨不足により、株の活着の低下や開化の遅れによる花の見栄えの低下などが懸念されるところであり、町や観光協会のホームページで状況をお知らせするほか、周知看板の設置などにより、対応を図ってまいります。

(教育振興課行政報告【社会教育班関係】)

次に、上富良野高校の状況についてであります。本年度は、地元の中学校からの21名を含む25名の入学があり、前年より5名の減となっているところであります。

また、本年度から新たな支援策として、町外からの通学者に対する通学費、下宿費の助成のほか、町内の通学者に対する就学支援金の支給と入学準備金の増額など、支援の拡充を図ったところであります。

今後においても、地域の皆さんのご理解とご協力をいただき、地元高校の存続に努めてまいります。

次に、第7回青少年国際交流事業についてであります。参加者の募集を行ったところ、中学1年生から高校3年生までの生徒11名の申込みがあり、決定したところであります。

訪問につきましては、教育長が団長となり、3名の引率者とともに7月26日から8月3日までの9日間の日程で、カナダ国カムローズ市等を訪問いたします。

両市町の友好の絆をさらに深め、国際意識の高揚に資する機会となるよう努めてまいります。

(総務課行政報告【企画財政班関係】)

最後に、建設工事の発注状況についてですが、本年度、入札執行した建設工事は、6月17日現在、件数で17件、事業費総額で18億3千634万2千円となっております。また、本年度、発注予定の建設工事は48件で、その情報については4月1日付けで公表したところであります。

なお、お手元に「平成25年度建設工事発注状況」について配布いたし

ましたので、後ほど御高覧いただきたく存じます。